

かくだ市議会だより



第395回定例会

- 質疑討論 2～3
- 議案審議結果 4
- 一般質問 5～10

角田市議会から

- 議員定数・議員報酬等改正について
のご意見 10
- 角田高校3年生との
『まちづくりワークショップ』 ... 11
- 市内小・中学校への
エアコン設置に向けて 12

【今号の表紙】『春のおとずれ』

「梅花の里」で蔵王連峰が見える場所を探して撮影しました。
真ん中に見える丸いものは、「宿り木」です。

《撮影》小檜山 裕行 さん

撮影日：2017年3月25日 場所：角田字物見壇地内

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第395回
12月定例会

第395回定例会は12月4日から12月21日までの18日間の会期で開かれました。

一般質問では10人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

市長から提案のあった教育委員会委員の任命、条例の制定・改正、補正予算などの議案21件を原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案が4件提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました

議案
第75号

西根小学校法面改修等工事

西根小学校南側の法面が平成29年10月の豪雨により浸食・陥没したこと、法面の改修等工事を行うもの。



▲陥没した法面

問 併せてグラウンドに暗渠排水管を敷設すべきと考えるが。

答 法面の復旧工事を行うことが、喫緊の課題である。グラウンドの暗渠排水管の敷設については、実施計画に計上し、計画的に行いたい。

一般会計補正予算(第3号)

「道の駅かくだ指定管理料」の債務負担行為補正

平成31年度より4年間、市が年額1,200万円の指定管理料を負担するもの。

問 指定管理料の算定根拠は。

答 施設整備検討委員会の協議を踏まえ、実施設計等を行い整備内容の詳細が決定した。その上で、再度試算を行ったところ、道の駅機能の施設管理運営経費は約1,630万円と見込まれた。一方、地域振興機能施設の事業収益から約400万円の充当が可能と見込まれ、道の駅機能施設管理運営経費から事業収益を差し引いた1,200万円を指定管理料として見込んだ。

反対討論……日下 七郎

道の駅かくだ指定管理料の債務負担行為補正について、収益事業を行う道の駅かくだの地域振興機能施設は2カ年間、赤字を見込んでいます。角田市のリスク分担の更なる精査をしなければなりません。

賛成討論……武藤 広一

道の駅かくだの補正については、道の駅かくだが平成31年4月に開業予定を控え、債務負担行為の補正は必要不可欠なものである。

反対討論……武田 曉

指定管理料を当初の年額1千万円から1千2百万円にするなど、道の駅の経費が増え続けている。財政状況が逼迫する中、より高収益な事業計画を立案し、最低限の指定管理料を設定することが市民に対する我々の責務である。

一般・特別会計補正予算一覧

(単位:千円)

会計区分	補正額(12月)	補正後の額
一般会計	639,198	13,651,738
特別会計		
介護保険	-1,402	3,108,969
公共下水道事業	1,381	1,586,747
農業集落排水事業	-48	107,625

一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入)		(単位:千円)
項目	補正額	
ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金	116,191	
ふるさと納税寄附金	100,000	
歳出(支出)		(単位:千円)
項目	補正額	
ふるさと納税寄附金返礼報償費等	56,899	
小・中学校空調設備(エアコン)設置	539,915	

議案
第85号

一般会計補正予算(第4号)

小・中学校空調設備(エアコン)設置工事

昨年の夏は猛暑となり、各地で児童生徒の健康被害が発生したことを踏まえ、各小・中学校の教室にエアコンを設置するもの。

問 今年の夏までに、エアコンの設置は可能なのか。

答 2月に工事の発注を行い、来夏に間に合うスケジュールで取り組みたい。登校日にも工事を行わなければならないことから、空き教室に移動して授業を行うことを想定している。

議案
第90号

東京電力(株)福島第一原発事故に係る和解

平成23〜25年度分の事業費・人件費に係る現申立額の約60%に当たる1億1,970万円の和解金について、仲介役のADRセンターより提示があったことから、東京電力ホールディングス(株)と和解するため、議会の議決を求めるもの。

問 和解未了部分は、今後、どのように請求するのか。

答 専従職員の時間内給与が全く認められていないため、他市町の状況等を参考にしながら、改めてADRセンターに対し、あっせん申立てを検討する予定である。

議案
第71・72号

奨学金貸付制度を公金化

～角田市育英会奨学金基金条例・角田市奨学金貸付条例を制定～

任意団体「角田市育英会」による奨学金貸付制度を、継続的かつ透明性・公平性を高めるため公金化するもの。

角田市育英会奨学金基金を設置するとともに、公的な奨学金貸付制度にするため、必要な事項を定めるもの。

教育厚生常任委員会での質疑

問 現行制度の任意団体「角田市育英会」の奨学金貸与返済台帳の総額と貸与金の帳簿総額では、約85万円乖離している。いつまでに解明するのか。

答 乖離の理由は、奨学生の死亡・自己破産等による返済免除等の事務処理が要因と考える。現在調査中であるが、次年度の育英会代議員会等で調査結果を報告し理解を求め、最終的には債権放棄等を行い、育英会の帳簿を合わせたい。

問 奨学金を借りたい学生の保証人が、保護者以外に、もう一人いない場合はどうするのか。

答 返済の確実性を担保するために、保護者と保護者以外の保証人1人は必須である。

本会議における討論

反対討論……………八島 定雄

奨学金貸与返済台帳の総額と貸与金の帳簿総額の乖離について、速やかに徹底した原因の究明をしなければならぬ。

適切な事務処理を行った後に、奨学金貸付制度を公金化する本条例に委ねることが肝要であると考ええる。

本条例の提案は、時期尚早である。

賛成討論……………武藤 広一

角田市の優秀な学生が、経済的な理由で修学ができないようなことを回避するための条例であり、また、角田市一般会計で事業を行うことにより、透明性・公平性が担保されるものだと確信するものである。

反対討論……………武田 曉

基本理念は崇高なもので賛同するが、連帯保証人を保護者以外にもう一人確保することは困難。また機関保証の利用も認めるべき。返済期間が10年以内という短期間であることもハードルが高い。旧来からの制度を抜本的に見直し、近代的な奨学金制度にアップデートする必要がある。

議案
第80号

「道の駅かくだ」の指定管理者に(株)まちづくり角田を指定

今年春開業する予定の「道の駅かくだ」の指定管理者に(株)まちづくり角田を指定するもの。

指定の期間…平成31年～4年間

産業建設常任委員会での質疑

問 (株)まちづくり角田の諸規程は定まっているのか。

答 就業規則や決裁に関する規程等、基本的な会社のルールは定めているが、詳細については、今後、策定していく。

問 株式会社として設立した会社の事務を市職員が補助しているのか。

答 株式会社ではあるが、第三セクターとして公共性を持った事業を進めていくことから、道の駅かくだの事業の企画立案等を非常勤職員等が補助を行っている。

問 人件費が当初の予定より低く提示されているが、大丈夫なのか。

答 計画では、施設ごとに人員を配置し、正社員5人・パート約18人で、効率よく事業を遂行していく。

本会議における討論

反対討論……………日下 七郎

平成31年から4年間で資本金をもとに経営し、その直後に道の駅の事業が

黒字になると見込んでいるが、見通しが甘い。逼迫した角田市の財政の中で、将来を見通せない事業を行うことは反対である。

賛成討論……………武藤 広一

(株)まちづくり角田は、角田スポーツビレッジ等と密接に連携して道の駅かくだを効果的・効率的に運営するとしている。角田市が出資する第三セクターであることから、公共性も担保され、また、安定したサービスの提供ができる団体と判断したことから賛成する。

反対討論……………武田 曉

指定管理者は、豊かな経験と知見を有する団体が選定されるのが定石でなかったか。新規設立の団体を非公募として選定する事は変則的。また、指定管理者が管理する備品一覧も空欄で示され、議案審議そのものが成立しない。

反対討論……………相澤 邦戸

本議案の提出者は、角田市長大友喜助氏であり、指定管理者の(株)まちづくり角田の代表者も大友喜助氏であるが、2つの団体のトップは同じ人が担うべきではなく、民間の活用を取り入れるべきである。また、説明資料の不備もあり、正確に審議できない。

議案審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの ○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	市民クラブ		志政クラブ				日本共産党 角田市議員		創生会		無会派						
					高橋力雄	湯村勇	星守夫	細川健也	堀田孝一	八島利美	武藤広一	黒須貫	日下七郎	八島定雄	小湊毅	武田暁	馬場道晴	渡邊誠	相澤邦戸	小島正	
第395回定例会	市長	議案第71号	角田市育英会奨学金基金条例の制定について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
		議案第72号	角田市奨学金貸付条例の制定について	可決 (11:4)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
		議案第73号	角田市保育の実施に関する条例及び角田市保育所設置条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
		議案第74号	敬老祝金等支給条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
		議案第75号	平成30年度角田市一般会計補正予算(第3号)	可決 (11:4)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
		議案第79号	平成30年度角田市水道事業会計補正予算(第2号)	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
		議案第80号	指定管理者の指定について(株式会社まちづくり角田)	可決 (10:5)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	
		議案第81号	仙南地域広域行政事務組合規約の変更について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
		議案第82号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (12:3)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
		議案第83号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決 (10:5)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○

議長(柄目孝治)は採決に加わらない。

●全員が賛成したもの

会議名	提出者	議案番号	件名
第395回定例会	市長	議案第70号	教育委員会委員の任命について
		議案第76号	平成30年度角田市介護保険特別会計補正予算(第3号)
		議案第77号	平成30年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
		議案第78号	平成30年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
		議案第84号	職員の給与に関する条例の一部改正について
		議案第85号	平成30年度角田市一般会計補正予算(第4号)
		議案第86号	平成30年度角田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
		議案第87号	平成30年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
第395回定例会	議員	議案第88号	平成30年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
		議案第89号	平成30年度角田市水道事業会計補正予算(第3号)
		議案第90号	和解について
		議会案第7号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出について
		議会案第8号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について
議会案第9号	介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書の提出について		
議会案第10号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について		

議員35年以上 柄目孝治議員

総務大臣感謝状贈呈

○任期 平成30年12月25日、4年間
毒島弘美氏(再任)

教育委員の任命

代表 木村 緋紗子
宮城県原爆被害者の会
仙台市太白区金剛沢一丁目25-18
北角田地区学校教育振興会
会長 渡邊 誠

核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出を求める陳情

角田市江尻字前原50番地
北角田地区学校教育振興会
会長 渡邊 誠

北角田中学校通学路の安全確保及び学校施設整備を求める陳情

(陳情4件とも同一提出者)
角田市宮城野区銀杏町39-18
宮城県医療労働組合連合会
執行委員長 中山 修

介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出を求める陳情

角田市宮城野区銀杏町39-18
宮城県医療労働組合連合会
執行委員長 中山 修

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出を求める陳情

角田市宮城野区銀杏町39-18
宮城県医療労働組合連合会
執行委員長 中山 修

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出を求める陳情

角田市宮城野区銀杏町39-18
宮城県医療労働組合連合会
執行委員長 中山 修

皆さんからの陳情

10人の議員が市政を問う

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質問することができます。
質問した議員ごとに要約してお知らせします。

議員名	質問項目	頁
武藤 広一	「道の駅かくだ」の各種広域等連携について	5
相澤 邦戸	角田市保育施設等統廃合基本計画(案)について	6
武田 暁	保育、教育施設の今後について 角田市学校適正規模検討について	6
八島 定雄	水道事業の「民営化」について 子どもたちの豊かな成長が育まれる学校給食について	7
黒須 貫	角田市保育施設等統廃合について 人口増加の可能性について	7
渡邊 誠	大雨により市道が冠水し民家が孤立する地区等の対策について その他の質問 ・福應寺毘沙門堂奉納養蚕信仰絵馬の収蔵庫を観光拠点とするための整備について	8
馬場 道晴	小中学校の学校給食について	8
八島 利美	公共施設の有効活用と利用者満足度アップ ↳施設管理から施設経営へ	9
日下 七郎	(仮)角田バイオマス発電所について その他の質問 ・総務省「自治体戦略2040構想研究会報告」と角田市の関わりについて ・森林経営管理制度(森林経営管理法)の規定についての見識と角田市の対応について	9
小湊 毅	角田市の水道事業について	10

議員▼西の玄関口にあたる「産直市場あぐりっ」との連携と、その周辺整備計画を検討する考えはあるのか。
市長▼商品や原材料の相互連携供給等を考えている。また、交流人口の拡大と地域活性化のために、どのような施策や支援ができるか検討したい。
議員▼仙南圏域内外の道の駅や、特産品直売所との連携の具体策はあるのか。
市長▼当市は四方山観光開発協議会や仙南地域地場産業振興協議会の構成員であり、仙南2市7町に加え、巨理町、山元町とも連携できる体制がある。周辺市町と物産振興と販路開拓の取組や情報発信など協力体制について検討したい。

議員▼姉妹都市や友好都市、さらには県内外の道の駅との連携について具体策はあるのか。
市長▼姉妹都市である福島県石川町及び北海道栗山町、友好都市である東京都目黒区、さらに県内
外の道の駅等との連携については、議員指摘のとおり、その必要性を強く認識している。年間イベントスケジュール案に姉妹都市、友好都市連携イベント等を検討したい。
議員▼かくだスポーツビレッジ(Kスポ)では、毎週のように各種スポーツ大会等が開催されている。そこで、各種スポーツ用品メーカーとコラボし、屋根付き広場にブースを設け、利用者のニーズに合わせた商品の販売や、大会に応じた企画・運営をメーカーに提供してはどうか。
市長▼Kスポで開催される各種イベントに合わせた、スポーツ用品メーカーに販売コーナーの設置場所の提供等について、スポーツイベント等の主催者側と十分協議し対応したい。

議員▼直売所の一角にスポーツコーナーを設け、スポーツドリンク、健康食品、鎮痛剤などを常備してはどうか。
市長▼利用者のニーズを把握し、取扱い可能なスポーツ関連商品コーナーの常設について検討したい。
議員▼フードコートで提供する具体的メニューや提供価格について問う。
例えば健康を意識したスポーツ弁当(カロリー表示など)などはないのか。
市長▼角田産食材を使った開発を基本に、ノーフメニューである、カレー、ラーメン、うどんなどを提供する予定で、また、スポーツ愛好者や健康志向者をターゲットにしたアスリート弁当の開発も進めている。
商工観光課長▼提供価格は500円前後を設定している。
議員▼スポーツと食と健康をコンセプトとするならば、仙台大学との連携を視野に入れて進めるべきではないか。
市長▼現在、仙台大学のサポートを受けながら、アスリート弁当の開発を進めている。今後さらなる連携を検討したい。



「道の駅かくだ」の各種 広域等連携について

武藤 広一



角田市保育施設等統廃合基本計画(案)について

相澤 邦 戸

議員▼「幼児期の教育・保育の今後のあり方」について、幼稚園・児童館・児童センターの全てを平成31年度で廃止するとしていたが、地区説明会開催後、保護者の意見を取り入れ、廃止を一年延ばし、平成32年度までとすることにした。

どの地区も少人数なので、施設間で交流保育時間を大幅に増やしてほしいが考えを問う。

市長▼これまでも少人数施設での交流事業は、多いところで月3回ほど行っている。来年度も多くの子ども達と触れ合う機会を設けていく。少し増やせるようなら、担当に指示してみる。

議員▼平成32年度は、5歳児のみになり、さらに少人数になると思われるので、地域の皆さんと話し合い、近くの2つあるいは3つの児童館等を統合することはできないのか問う。

市長▼児童館等は、地区外どこからでも通うことはできるので、私立幼稚園や児童館等、選択肢が増えることになる。統合は考えていない。

議員▼せっかく1年延ばしたのであるから、そのことが機能するよう、保護者と話し合いを深め、交流を深めた児童館等を統合することはできないか再度問う。

市長▼前と同じ答弁である。

議員▼2年後に市街地周辺地区の児童館等の自由来館を全て廃止してしまふと、自由来館としての遊び場は、街なかの角田児童センターのみになってしまう。自由来館機能を少しでも残すことはできないか問う。

市長▼市内の未就学児の4割は、家庭保育であり、親子で遊びに行く場所が必要だと思っている。特に3歳未満の子どもが遊べる施設が充実している

状況ではないので、財政状況を考慮しながら整備できないか検討していく。

『児童に健全な遊びを与えて、健康を増進し、または情操を豊かにする』、『児童の活動において児童の利益が最優先的に考慮されなければならない』、『国及び地方自治体は、児童の健康及び福祉増進に努力しなければならない』等、うたっている。それらを鑑み、児童館等の廃止時に統廃合を検討するとしている児童遊園について、子どもにとり重要な施設であるので、残してほしいと思う。その折は、地区の方々と充分な話し合いを持っていただきたいが考えを問う。

市長▼児童遊園の利用状況や地区の公園の設置状況、今後の維持管理方法など、その施設ごとの必要性を精査し検討していく。

議員▼休館中のものも含め、児童館2館、児童センター5館、幼稚園2園について、当初平成32年3月末をもって廃止するとの説明会を当局は市内各所で行っていたが、12月1日に全戸配布された修正案では廃止時期を一年延長すると示した。説明会参加者からどのような意見、要望が出たのか。

保育、教育施設の今後について

武田 暁



市長▼平成31年度末での廃止に対して、1年間で最も急であるという意見が最も多かった。次に廃止に伴う支援策、施設の継続要望、説明時期の遅さを指摘する意見があった。また、パブリックコメントを行い、13件の意見を得た。多くは枝野幼稚園の存続を望んだ。

議員▼枝野幼稚園存続のパブリックコメントを受け、どの部分が修正案に反映されたのか。

子育支援課長▼その要望にはなかなか応えられないという現在の判断である。

議員▼修正案に説明会参加者は同意しているのか。子育て支援課長▼納得できない方はいるが、全体としてはやむを得ないと考えているであろうと捉えている。

議員▼説明会資料では市の財政悪化が強調されているが、どの様に検証しているのか。

市長▼平成19年度以降、小中学校の耐震化や改築、市民センター、学校給食センター、保育園・保育所、住社橋、道の駅の整備、枝野橋の改修等の大規模なハード事業や、児童館、児童センター、保育サービス、子ども医療費助成、出産祝金、敬老祝金、角田中央公園の運営管理等のソフト事業で住民サービスの充実に努めてきた。また扶助費が

年々増加している。収入面では、人口や経済の縮減等に起因する市税や地方交付税の減少などが主な財政悪化の要因であると分析、検証している。

角田市学校適正規模検討について

議員▼先述した保育施設等の統廃合問題と同じく、角田市学校適正規模検討委員会においての底辺にあるテーマは統廃合をどうするのかという部分であると考える。現在の進捗はどのようか。

教育長▼児童数の減少を各委員が把握した上で意見が交わされている。順調に進んでいる。

議員▼この委員会は平成30年度以降も継続するのか。

教育長▼可能性としてはあるかもしれない。

議員▼角田市の児童生徒数を鑑み、1学級は何人が適正と考えるか。またそれを達成する為に、市内の小中学校は何校が適正と考えるか。

教育長▼1学級35人が適正であると思う。現実問題として、例えば、中学校1校、小学校2校という形も可能である。角田中学校に全部の中学生を集めることも出来る。

議員▼その案は委員へ伝えてあるのか。

教育長▼原案を一、二、三例示したいとは考えている。



水道事業の「民営化」について

八島 定雄

議員▼「みやぎ型管理運営方式」について、宮城県から、これまでどのような説明を受けて来たか市長▼県からの説明によれば、次の5点に集約される。

- ①水道用水供給事業、工業用水道事業、流域下水道事業の水道3事業を包括して管理運営すること、スケールメリットの発現が期待できる。
- ②民間事業者は、現在の委託業務の範囲に加え、電気機械等設備更新も行う、県は引き続き水道管の管理、更新や建物等の改築を行うことから、民間事業者へ全てを委ねる完全民営化ではない。
- ③用水供給料金は、受水市町との調整、県議会での条例改正といった料金改定の流れは現在と変わらない。ただし、その前後で県と民間事業者との調整が行われる。
- ④民間事業者の実施状況等は、専門家による第三者機関でチェックを行う。
- ⑤自然災害等への対応は、現在と変わらず、県が対応する。

これを先行して進めた諸外国では、水道料金の高騰、人員削減によるサービスの劣悪化などの問題が発生し、再び公営に戻す動きが広がっている。世界的には、民営化の失敗は明らかで、国民の命の源である水道事業を営利企業に委ねることの危険性を示していると考え、所見を求めます。

市長▼海外の事例のようにならないように行うべきだと考える。

子どもたちの豊かな成長が育まれる学校給食について

議員▼学校給食で地産地消を積極的に取り入れることを求めるが、角田産の地場食材の購入状況はどうなっているのか。

教育長▼地場食材の使用品目数は、平成28年度12品目、平成29年度16品目、平成30年度20品目と増加傾向である。購入金額ベースで、平成30年の8カ月間で、コメは全て角田産を購入し、約931万円。生鮮野菜は全体購入金額約965万円に対し、角田産は約115万円となり、その割合は11.9%となっている。

議員▼使用品目数をもっと増やしていく考えはあるのか。

学校給食センター所長▼今後とも更に増やすよう努力していきたい。



角田市保育施設等統廃合について

黒須 貫

議員▼角田市保育施設等統廃合基本計画(案)の策定に、無理があったのではないかと。市長▼策定まで短い期間だったが、利用者が急激に減少し、集団保育には過小な人数となった施設もあり、早期解消を目指した。スケジュールもほぼ予定通りだ。

議員▼公立幼稚園の廃止案が出されたが、角田市の幼児教育の理念とは何か。

教育長▼人間の心身の成長の核となる、知育・徳育・体育の基礎を育成するもので、適時性が何よりも求められる教育だと認識している。

議員▼幼稚園は幼児教育施設であり、保育支援福祉施設とは分けて協議すべきだ。今回の案に至った経過を問う。

教育長▼公立幼稚園については、角田市子ども子育て会議において児童館・児童センターのあり方と併せて議論し、その結果を受けて教育委員会の方針性を決定することとした。市長から会議の都度報告があり、定例会

で議論してきた。10月には基本計画案について議論し、説明会後の修正案について、今後議論する。

議員▼障害児、病児・病後児等が私立幼稚園を希望した場合、必ず受け入れられるか。

教育長▼各私立幼稚園で直接相談を受けているように、障害児への対応は様々な機関があり、今後更に対応を充実していく計画だ。

議員▼現在の幼児教育は、数より質だとされる。10人程度が確保できれば、幼稚園は成立するのではないかと。

教育長▼幼児期の群れで遊ぶ中で学ぶ内容を考えれば、10人では理想的な指導形態とはいえず、よりよい指導形態に配慮すべきだ。

議員▼角田市の公立幼稚園は、仙南地域の中でも評価が高い。仙南地域の幼児教育の拠点として、幼稚園は存続すべきと考えるか。

教育長▼枝野幼稚園は確かに評価が高いが、管内の私立幼稚園も各々に独自の特徴、良さを生かした

た幼児教育をしており評価に値する。仙南地域の幼児教育の拠点として存続するのは難しい。

人口増加の可能性について

議員▼人口減少の中、近年、都市部以外に人口増えるいは安定している自治体がある。施策は様々だが、共通して30代女性を増やすことに努力している。角田市内にも同様な傾向の地区がある。世代間も男女間も上手に繋がっていきやすい、特に女性が暮らしやすい環境が形成されている。結婚・子育て世代の女性の暮らし易さが、人口増加策の大きなポイントではないか。

市長▼必ずしも利便性だけを求めて人口が増えていく訳ではない。いかに20・30代女性に住んでもらうかが重要。女性の視点からも子育て世代が暮らしやすい環境づくり、働くママへのサポート等を考えた施策の展開を図っていかねばならない。



大雨により市道が冠水し民家が孤立する地区などの対策について

渡邊 誠

議員▼市道が冠水して民家が孤立する東根の4地区について、第391回定例会以降の調査の結果と今後の計画について市長の考えを問う。

市長▼①市道4004号小中田線の冠水対策として、赤道の切り替えで北側への避難路の設置が可能か検討したが、工事費が多くなることから難しいと判断している。

今後、議員提案の南側への避難路設置が可能かについてと、諏訪橋の揚排水機場ポンプの活用について、その能力も含め土地改良区と検討している。

②坂津田下の普通河川千海田川の排水の堤防からの越水対策については、ポンプによる強制排水と堤防のかさ上げの2つの方法を検討しているところである。

1つ目のポンプによる強制排水は、排水する流

域が232haと広いので、排水量が大きくなることから莫大な費用を要することになり、現実的な対応は難しいと考えている。

2つ目の方法として、現在の堤防をかさ上げすることが考えられたので、阿武隈川の上台樋管から上流の区間について、堤防高をかさ上げすることについて検討した結果、既存の堤防から約50〜60センチ程度のかさ上げが可能と判断した。

堤防をかさ上げすることで、大雨時における千海田川からの越水回数を無くすることはできないが、減少させることは可能である。

平成31年度においては、追加の測量、流量計算等を実施し、今後、事業の規模を見定め、検討をしていく。

③東小坂、滝ノ沢地区について、平成30年6月に地元の関係者等と現地

立ち会いを行い、その際、赤道部分のかさ上げや道路幅員等について説明を行い、用地の協力についてお願いをした。しかしながら、関係者からの協力は得られていないという状況であり、再度、関係者の皆様に御協力いただけるよう、用地の交渉等について、担当課に積極的に動くようにさせたいと思っている。

④西小坂、西迎地区の市道4043号堤線の冠水による孤立の対策について、平成30年6月に地元の行政区長、関係者の方々と現地立ち会いを行っている。その際、地区の北側の赤道を迂回路として活用できないかという点で現地を確認している。

これについても、周辺の用地の確保について、地権者と今後交渉を進めていきたいと思っている。

議員▼平成30年11月10日の新聞報道で、宮城県内14市のうち、少なくとも9市が学校給食で栄養量が国の定める摂取基準を満たしていないとのことであった。本市では、週5回の米飯給食で、小学校の場合で米の価格を2018年度と2014年度を比較すると、1食当たり3.2円

小中学校の学校給食について

馬場道晴



上昇、平成30年10月の調査でエネルギーの充足率は100%を下回ったとあった。

本市の学校給食の栄養摂取量の現状について問う。

教育長▼本市では、近年食材価格の高騰等により使用できる食材が限定されてきている等から、学校給食摂取基準に対する充足率は基準を下回った状態である。

平成30年6月の本市の項目ごとの数字は、エネルギーが小学校99.0%、中学校97.8%、タンパク質が小学校100.3%、中学校97.1%、カルシウムが小学校98.3%、中学校85.3%、鉄が小学校88.7%、中学校87.8%、ビタミンAが小学校155.5%、中学校104.2%、ビタミンB1が小学校90.0%、中学校88.0%、ビタミンB2が小学校120.9%、中学校96.7%、ビタミンCが小学校152.9%、中学校108.4%、食物繊維が小学校84.0%、中学校80.6%、ナトリウムが小学校93.9%、中学校91.3%となっている。

主な栄養素10項目のうち、本市での充足率が100%に満たないものは、

小学校で6項目、中学校で8項目といった状況で、一番充足率が低い栄養素は小中学校とも食物繊維で、次に鉄となっている。本市ではこれまで食糧価格が高騰するなか、国産品を基本とし、安価で安全な食材を選定する等の献立の工夫や入札参加者を増やす等の給食食材の発注の対応により、自助努力で値上げをせずに給食の提供を続けている状況である。

議員▼今後の対策・対応について問う。

教育長▼近年、主食である米代や牛乳代の価格高騰が続いており、現在の給食費では、献立の多様性や児童生徒の成長に必要な栄養価を満たすことができない状況である。このまま値上げをせずに、現在の給食費の据え置きを継続すると、国産品を基本とする食材の調達や地産地消の推進など、安全・安心で栄養のバランスのとれた魅力ある給食の提供ができないことが想定される。

このため、平成31年度に給食費の改定を予定しており、平成30年12月14日に教育厚生常任委員協議会に説明したところである。



公共施設の有効活用と利用者満足度アップ ～施設管理から施設経営へ～

八島利美

議員▼公共施設の有効活用と利用者満足度アップのために施設管理から施設経営へと意識を変えて改善すべき。今後の公共施設等総合管理計画を問う。
市長▼来年度に各施設の個別施設計画を策定予定。利用者の声を聴き、長寿命化だけでなく、有効活用や施設再編等様々な観点から策定したい。
議員▼窓口業務の改善策

を問う。
市長▼総合受付システムの検討、番号表示システムの導入、単純定型業務の自動処理で効率化を予定。ICT活用や民間委託導入も検討したい。
議員▼歳入確保対策の改善点を問う。
市長▼来年度より市税等のコンビ二納付導入、法的措置を前提とした債権回収の一元化など、効率的な徴収体制を全庁横断的に検討したい。
議員▼市民センターの改善策を問う。
市長▼展示用備品等は不足分の購入や他施設借用等で対応。会議室等貸出も市民サービス向上の視点で検討。使用料増収へPR動画を活用し営業。かくだ田園ホール・ホワイエも月1回開放し有効活用。指定管理制度導入も検討したい。
議員▼図書館等の改善策を問う。
教育長▼雑誌の充実、インターネットやDVD等の環境整備、司書による図書探しの支援、他図書館との相互貸借促進。子ども図書館は、絵本等の充実、定期的読み聞かせ保育所や児童館等へのPR、親子遊びの場として活用等を検討したい。
議員▼郷土資料館及び本町パークの改善策を問う。
教育長▼教育機関資料館と街なか交流拠点本町パークの連携で、観光資源として積極的に活用し、利用者満足度アップに繋

げたい。
議員▼Kスポ(角田中央公園)の改善策を問う。
市長▼道の駅との連携。スポーツ交流館の多目的ホールで親子対象の開放事業を定期的に開催予定。交通公園の芝生スペースを子ども遊び場として活用。
議員▼台山公園の改善策を問う。
市長▼ローラー滑り台は今年度大改修。トイレの洋式化も一部実施。コスモハウスでアイスクリーム等販売予定。ソフト事業は各種サポーターの協力を得ながら改善したい。
議員▼角田駅コミュニティプラザの改善策を問う。
市長▼1階の観光物産センターの軽食コーナーを民間運営。2階のスペースについても民間活用を検討したい。
議員▼利用者満足度調査及びニーズ調査を実施しないのか。
市長▼指定管理者導入施設以外はアンケート調査をしていないので、市民サービス向上のため検討したい。
議員▼公共施設経営について問う。
市長▼活用法や財源確保等、民間のノウハウも導入して運営していく必要がある。
教育長▼利用者に、いかにリピーターになっていただくかという視点で運営すべきである。



(仮) 角田バイオマス発電所について

日下七郎

議員▼東京証券取引所(東証)第一部(株)H.I.S.が、平成29年4月14日に「新たな発電事業着手に関するお知らせ」で、「当社は、子会社(H.I.S. SUPER電力(株))を通じて、新たな発電事業に着手する」とし、「新事業の概要、宮城県角田市にバイオマス(パーム油)発電所を建設し、発電した電力を、固定価格買取制度を活用して電力会社に販売いたします」。

H.I.S. SUPER電力(株)代表取締役社長から説明を受け、また、平成30年9月にも社長が来庁し、今後の説明を受けた。その際、社長に対しては、地域住民の生活に影響が出ないよう、環境に配慮して事業を進めてほしい旨を伝えていた。また、地域住民が不安にならないように、住民説明会を開催するなど、十分な説明をお願いしている。
議員▼平成29年9月時点、固定価格買取制度で認定されたバイオマス発電(パーム油)の計画は、出力約500万キロワットに達し、もし、全てがフル稼働すれば、パーム油は年1千万トンも必要になる。これは、世界生産量の半分にあたり、環境NGOは、インドネシアやマレーシアのアブラヤシ農園の開発で、貴重な生物の住む森や湿地が破壊され、強制労働による人権侵害もあると批判している。平成29年10月

30日付け、河北新報「パーム油発電急増」とのマスコミ報道もある。
角田市は地元として、企業の撤退を求めているのか。
市長▼地球温暖化をはじめ、地球環境問題を懸念する時代ではあるが、バイオマスの原産国の環境を破壊する可能性があると報道されている。角田市がその環境悪化に加担していることと受け止める方がいるということは大変残念なことである。私は、撤退を求める立場ではなく、根拠の無い反論はできない。根拠をマスコミ報道に求めるのか、あるいはもっと調査が必要なのか、今の段階では分からない。企業は考え方をしっかりと持っており、法的にも認められている。新聞報道があったから、角田市が企業へ撤退の要望をするということにはならない。



角田市の水道事業について

小 湊 毅

議員▼枝野浄水場と小田浄水場は、施設の老朽化等を理由に廃止される予定であったが、東日本大震災による自主水源の有効性から現在も稼働している。現在、高倉ルートも新設され（角田市の水道インフラは強化された）ので、両浄水場は廃止すべきではないか。

市長▼平成29年3月に作成した水道事業経営戦略では、需要に見合った施設能力にすることを浄水場の廃止も含めて検討することとしている。継続を検討するというのではなく、廃止を含めて検討するということである。当分の間は、両浄水場を継続していく。

議員▼老朽化した水道管の布設替えについて、角田市で現実的に対応できるのは、1年間でどのぐらいの長さか。角田市の水道管の総延長、及び全ての水道管の布設替えをするには、何年かかると見込んでいるのか。

市長▼御指摘のとおりである。平成29年度末現在で約29.8kmが布設されている。地方公営企業法施行規則で定められた耐用年数は、管種別に関係なく、一律40年とされているが、平成18年度の厚生労働省検討会報告書に更新基準としての案が記載されており、事故率、耐震性能を考慮した更新基準が管種別により40年から80年とされている。角田市の全ての水道管を更新するには、約60年かかる想定される。つまり、管種別に40年から80年以上の老朽化した水道管を順次古いものから更新していくと、昨年更新したものは60年後に更新になるというところで、これを延々と続けることになる。

議員▼角田市は市内全域が給水対象地域であるにもかかわらず、普及率は97%であり、3%はまだ水道水が利用できない。水道事業には国・県・市などから公金が投入されている。平成29年度は1億4,100万円で、人口3万人で単純計算すれば1人当たり4,700円の恩恵を受けていることになる。未給水地で井戸水を利用されている方は、井戸水の水質検査をするにしても、自己負担で行っている。非常に不公平ではないか。

市長▼平成29年度は特別で1億4,100万円だが、通常は4,200万円程の補助であり、1人当たり1,500円と受けとめている。給水を受けているところでは、1人当たり、平均年間1万8,000円の水道料を負担しているの、不公平とは受けとめていない。

提出方法別提出件数

提出方法	提出件数
直接持参	12件
郵便	2件
ファクシミリ	13件
E-mail	2件
計	29件

昨年12月21日から本年1月11日の間で議員定数・議員報酬等改正についてのパブリックコメントを募集させて頂き、市民の皆様から多くのご意見を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

最小の経費で最大の効果を上げる議会であるために、議会の役割機能の維持・向上ができるよう、議員定数、議員報酬及び政務活動費について、議会改革検討会議において研究と議論を重ね、議会運営委員会を通じて改正の骨子を構築し、市民の皆様到我々の案をお示し致しました。頂いたご意見を真摯に捉え、今後も協議を行う所存です。

なお、頂いたご意見に対し、議会としての考え方を整理し、後日市のホームページ等でお知らせいたします。

議員定数・議員報酬等改正についてのご意見(パブリックコメント)

29件のご意見をお寄せいただきました

～ご意見の主な内容(抜粋)～

※賛成・反対が分らない意見については、件数に含めていません。

議員定数を18人から16人に削減

賛成(20件)

・少数意見も吸い上げるシステムを作りあげることが必要。

・議員定数の削減で議会活動が低下しないよう、各議員の努力が必要である。

反対(4件)

・人口減少を考えれば12～14人が妥当。

議員報酬月額35万3千円から36万8千円に増額

賛成(12件)

・議員の仕事に魅力を持たせるためにも高報酬は賛成だが、各議員に月間・年間の自己活動計画を作成して実行管理をしてほしい。

反対(14件)

・現在の報酬月額で十分すぎると思う。

・報酬が高いから、安いからという理由で、議員活動ができないということにはつながらない。

政務活動費月額5千円から1万円へ増額

賛成(13件)

・一万円でも少ないと思うが、政務活動費の状況報告をしっかりと示してほしい。

反対(12件)

・月額5千円で十分活動できると思う。

～市内小・中学校へのエアコン設置に向けて～



▲角田小学校の普通教室。窓際に扇風機が1台。

近年、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなっており、特に昨年の夏は、真夏日や猛暑日の記録更新の報道がなされ、児童・生徒が一日の大半を過ごす普通教室内の温度は、学習する環境としては極めて厳しいばかりか、健康にすら影響がでる状況でした。

市内小・中学校の普通教室には、扇風機以外の空調設備は無く、角田小学校の先生に話を伺ったところ『上の階に行けば行くほど教室内の温度が高くなり、最上階の3年生や6年生が大変な思いをしている。また、体力のない1年生は体調を崩すことが多い。』とのことでした。

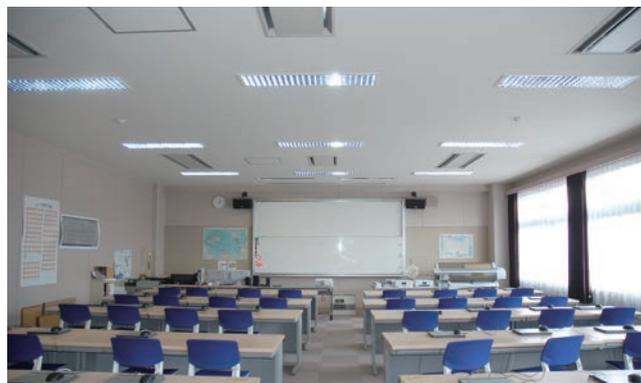
角田市議会では、将来を担う児童・生徒のため、小・中学校普通教室への冷房等空調設備の設置の促進に対する助成制度を、大幅に拡充するよう強く求める『学校施設への冷房等空調設備設置の促進に関する意見書』を平成30年9月28日に内閣総理大臣はじめ、関係大臣等に提出するとともに、『学校施設への冷房等空調設備設置を求める決議』をいたしました。

さらに、県内の各自治体は一斉に今夏に向けて空調設備の発注を行うと見込まれ、工事はもとより、人員確保や設備の調達すら間に合わないのではないかととも報じられていることから、当局に対し、早期の予算化、速やかな工事発注等を求めるため、角田市議会第395回定例会第2日（12月13日開催）において、『市内公立小中学校等へのエアコン設置について』の議員間自由討議を行いました。

そして、同定例会の最終日に、当局より市内小・中学校の普通教室及び特別教室にエアコンを設置するための予算措置を含む『平成30年度角田市一般会計補正予算（第4号）』が上程され、説明・質疑・討論の後、賛成多数で可決しました。

現在、当局、各小・中学校等が連携し、今年の夏までにエアコンを設置するため、急ピッチで事業を進めています。

角田市議会としても、夏までに事業が遂行できるよう注視して参ります。



▲一部の特別教室等はエアコンが設置されている。（角田小学校 コンピュータ室）

編集後記

第395回定例会は12月21日に閉会し、市長提出議案の全議案を原案通り可決しました。

尚、一般会計補正予算にて、児童・生徒の熱中症対策及び教育環境の整備を行うため、市内の小・中学校の全教室（202室）にエアコンを設置する予算化を図り、今年夏の稼働に向け対応しております。昨今の温暖化の影響もあり、従来の想像を超えるような猛暑日が続いていることから、エアコンの設置は健康で快適に学習するためにも効果的な手段であります。

今後も市民の皆様の声に耳を傾け、市と議会が智恵を出し合い切磋琢磨しながら、緊張感をもって前進してまいります。

議会だより編集委員
堀田 孝一

議会を傍聴しませんか。

2月定例会の予定

会期
2月19日(火)～3月15日(金)

本会議の日程（午前10時開会）	
2月19日	提案理由の説明
27日	質疑・自由討議
3月4日	討論・表決
13日	一般質問
14日	一般質問
15日	最終日

●予算審査特別委員会は
2月27日、3月4日・5日・12日に開催

※日程は変更になる場合があります。
※ライブ配信も行います。

請願・陳情の提出は
2月12日(火)まで

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfif.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。



第395回(平成30年12月)定例会

傍聴者数 7人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ165人

インターネット録画中継視聴者数

10月～12月 延べ836人